

乱流および多相流のシミュレーション

大阪大学 工学研究科 機械工学専

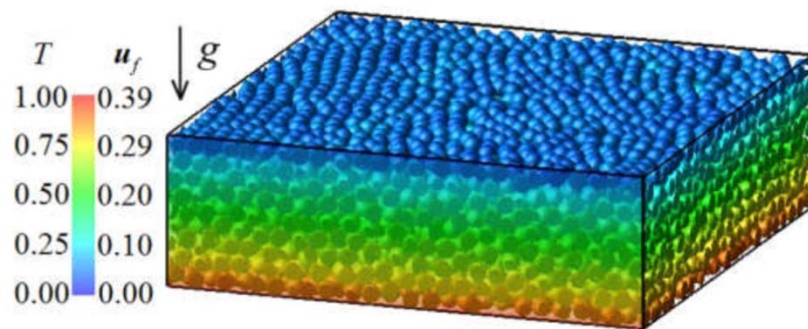
梶島岳夫・竹内伸太郎・大森健史・岡林希依

二相乱流、二相伝熱、流体構造連成解析、気液界面および濡れの現象を対象として、差分法、有限要素法、分子動力学法、差分格子ボルツマン法による解析方法を適宜開発している。

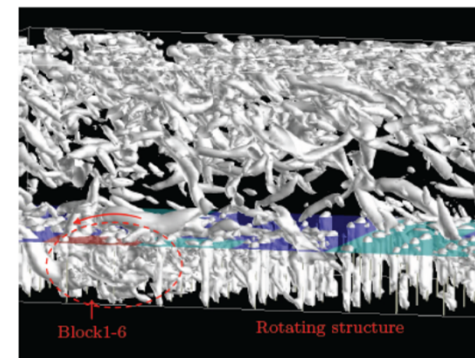
利用した計算機

SX-ACE (16kCPU時間, max.40GB, ベクトル化率>98%)

VCCクラスター (10kCPU時間, max.5GB)



固液二相対流伝熱



キャノピー層を過ぎる乱流